

はじめに



豊橋市では、21世紀の母子保健の主要な取組みを提示するビジョンとして国が平成12年11月に策定した「健やか親子21」の趣旨を踏まえ、豊橋市の現状と課題を整理した「すこやか親子とよはしプランー豊橋市母子保健推進計画ー」を平成14年3月に策定し、親子が健やかに暮らせるまちの実現を目指して母子保健の推進に取り組んでまいりました。

こうした中、近年、少子化の一層の進行に加え母親と子ども世帯の増加や3世代世帯の減少、地域コミュニティのつながりの希薄化が進み、妊娠、出産、育児における母親を取り巻く環境が大きく変わってきました。このような環境の中で、子どもを産み育てる母親の不安感の増加や孤立化はますます進んでおり、家族はもちろん、地域や行政も一体となり子育てを支援していくことが重要な課題となっています。また同時に、年々増加する児童虐待も深刻な社会問題となっています。

今回の豊橋市母子保健推進計画（第2次）2013ー2022では、新たに「健やかで心豊かな次世代を育むまちとよはし」を基本理念として定め、これまでの第1次計画の評価から把握された課題に加え、発達障害の早期発見など新たな課題にも取り組むこととしています。市民の皆様とのパートナーシップにより本計画の着実な推進を図る所存でありますので、これまで以上のご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました豊橋市地域保健推進協議会委員の皆様をはじめ、アンケートやパブリックコメントにご協力いただきました多くの市民や関係団体の皆様に、心よりお礼申し上げます。

平成25年3月

豊橋市長 佐原 光一

目次

第1章	計画の策定にあたって	1
1	計画の策定趣旨	1
2	計画の位置づけ・他計画との関係	2
3	計画の期間	3
第2章	豊橋市の現状	5
1	人口の状況	5
2	出生	7
3	女性の体格の現状	8
4	人工妊娠中絶実施率・周産期死亡率	9
第3章	計画のめざすもの	11
1	基本理念	11
2	基本方針	12
3	計画の体系	13
第4章	ライフステージ別の主な取組み	15
1	性や命の大切さを理解し、親となるための準備ができる	18
1-1	親となるための心やからだづくりができ、健康管理ができる	18
(1)	基本的な生活習慣の形成	18
(2)	命の大切さを理解し、妊娠や性感染症に関する正しい知識の普及	21
2	安心して妊娠・出産ができる	24
2-1	望んだ妊娠・出産ができる	24
(1)	妊娠期の保健・医療サービスの充実及び妊娠中の健康管理	24
(2)	不妊の相談や支援の充実	27
2-2	妊娠・出産を支える力が豊富にある	29
(1)	妊娠・出産を支える環境の整備	29

(2) 妊娠前からの低出生体重児対策及び出産後の支援	31
3 いきいきと子育てができ、子どもが健やかに成長できる	34
3-1 心身ともに健やかに成長し、子育てができる	34
(1) 子育てに関する正しい知識の普及	34
(2) 家庭における基本的生活習慣の形成	38
(3) 病気や感染症の予防	40
(4) 発達障害をはじめとする障害や病気の早期発見・ 早期支援	43
3-2 家族全体で育児を支えることができる	47
(1) 家庭での育児力の強化	47
(2) 虐待を防止する妊娠期からの支援と子育て中の 虐待の予防	49
(3) 乳幼児突然死症候群の予防と家庭での事故防止	53
 第5章 計画の推進にあたり	 55

資料編

1 計画の策定体制	57
(1) 策定組織図	57
(2) 豊橋市地域保健推進協議会設置要綱	58
(3) 豊橋市地域保健推進協議会母子保健推進部会運営要領	60
(4) 健康とよはし推進計画・豊橋市母子保健推進計画策定会議設置 要綱	63
2 計画の策定経緯	66
3 用語集	67